

① 制度の概要

東京都が実施する成長産業分野への事業転換等を支援する制度です。専門家による事業計画作成支援や製品開発を通じて、**中小企業の新たな成長**を促進します。

事前相談から始まり、アドバイザー会議での評価を経て助成金申請に進む**段階的なプロセス**により、確実な事業転換を実現します。技術開発だけでなく市場開拓も含む包括的支援が特徴です。

🔍 支援内容

❑ 助成対象経費

原材料費、機械装置費、委託費、知財費用、専門家指導費、人件費、広報費を対象

最大1,500万円

助成率：2/3以内

❑ 対象事業

事業転換、業種転換、新市場進出を目的とした製品・ソフトウェアの開発改良

開発期間1年以内

🎯 対象となる取組

【事業転換】

- ☐ 新製品製造による主たる事業変更
- ☐ 具体的事業計画と技術開発要素必須
- ☐ 製品化・実用化を目的とする取組

【業種転換・新市場進出】

- ☐ 主たる業種変更を伴う新製品製造
- ☐ 新たな顧客層を対象とした市場開拓
- ☐ アドバイザー会議での評価必須

👥 対象者

- ☐ アドバイザー会議で**評価を受けた**中小企業者
- ☐ 東京都内に本店又は主たる事業所を有する
- ☐ 製品開発・改良を検討している企業

💡 採択率向上のポイント

- ☐ **事前相談の充実**：商工会議所での十分な事前調整
- ☐ **技術的差別化**：**具体的な技術開発要素**の明確化
- ☐ **市場性の実証**：新市場における需要の具体的根拠
- ☐ **実現可能性**：開発主体の自社実施体制整備

📊 戦略的分析

【段階的アプローチ戦略】

- ☐ **調整会議での**事業可能性の事前確認
- ☐ アドバイザー会議での**専門評価獲得**
- ☐ 助成金申請での技術開発計画精緻化

【競合差別化戦略】

- ☐ **成長分野**の明確な定義と市場分析
- ☐ 既存事業との**シナジー効果**明示
- ☐ 開発成果の知的財産権確保計画

📈 技術開発投資の推移



東京都製造業R&D投資（2019-2024年）：年平均10%増加傾向
事業転換成功率：約70%（事前評価実施企業）

👤 専門家活用のおすすめ

- ☐ **事業計画策定**：市場分析と技術戦略の統合支援
- ☐ **技術開発指導**：開発プロセスの効率化助言
- ☐ **知財戦略**：特許出願と実用化戦略の連携
- ☐ **事業化支援**：販路開拓と量産化計画立案

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/09/09作成】

提出書類	チェックポイント
助成金申請書	☐ 事業転換の明確性 を具体的に記載 ☐ 開発期間と予算の詳細計画
事業計画書	☐ 技術開発要素の具体的内容 ☐ 市場性と 競合優位性 の分析
アドバイザー会議提案書	☐ 会議での評価内容を反映 ☐ 指摘事項への対応策明記
会社概要・財務諸表	☐ 開発実施体制の説明 ☐ 財務健全性の確認

📅 申請スケジュール

- 事前相談**
東京商工会議所・東京都商工会連合会にて受付。
事業内容の事前調整を実施。
- 調整会議**
第1回：2025年5月23日、第2回：9月3日
事業可能性の評価を実施。
- アドバイザー会議**
第1回：8月18日、第2回：11月中下旬
専門家による事業評価
- 助成金申請**
第1回：9月1-12日、第2回：12月初中旬
jGrantsによる電子申請
- 交付決定**
第1回：12月1日、第2回：3月1日予定

⚠️ 補足事項

- ☐ 同一テーマでの申込みは1回まで
- ☐ GビズIDプライムアカウント事前取得必須

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyo/business_conversion_jyoseikin.html
申請システム (jGrants)	https://www.jgrants-portal.go.jp/
お問い合わせ	東京都中小企業振興公社 助成課 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3-3 TEL：03-3251-7894